

2008 年度

科目名 コミュニケーション演習 A	対象学科・学年 薬学部薬学科 1 回生	担当者 小山 豊
授業テーマ 信頼関係の確立のためのコミュニケーション		
授業の概要と目標 コミュニケーションは、薬剤師の重要なスキルのひとつであります。患者あるいは医療チーム内での意思疎通のためにも低学年よりその重要性を理解せねばなりません。そのため本演習科目は、医療の担い手の一員である薬学専門家として患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能および態度の修得を、学習の一般目標とします。授業の内容は担当教官の提示する課題に対して、小グループ形式での討論を行い、その過程でコミュニケーション能力や問題解決能力を養うようにカリキュラムが組まれています。 (日本薬学会モデルコアカリキュラム A(3)「信頼関係の確立を目指して」に対応)		
評価方法 授業への出席数、および期末時に課すレポートを評価の対象とします。		
テキスト 必要なテキストは、授業開講時に配付します。	著者	出版社
参考書 ・スタンダード薬学シリーズ 1 ヒューマニズム・薬学入門 ・薬局におけるコミュニケーション能力の開発と実践	著者 日本薬学会 編 平井みどり、楠元 喬 監修	出版社 東京化学同人 じほう社
授業スケジュール・内容 以下に示すコミュニケーションに関する知識、技能および態度の修得を、各回の授業での到達目標とします。 1. 講義 インTRODakション（コミュニケーション論、本演習の進め方について） ・薬剤師業務におけるコミュニケーションの必要性を知る。 ・言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。 ・意思、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。 ・立場、文化、習慣などによって生じるコミュニケーションの差異を例示できる。 2. コンセンサスゲーム その 1 : コミュニケーションを図るための簡単なゲーム課題の提示、および小グループ内での討論 ・課題に対する自分の意見を決められた時間内で発表できる（技能）。 ・質問に対して的確な応答ができる（技能）。 3-4. コンセンサスゲーム その 1 与えられた課題についての小グループ内での討論。 ・課題に対する自分の意見を決められた時間内で発表できる（技能）。 ・質問に対して的確な応答ができる（技能）。 5. コンセンサスゲーム その 1 討論結果の発表と全体での討議 ・グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる（技能）。 ・自分達のグループと他のグループの結果を比較して討議する（態度）。 6. コンセンサスゲーム その 2 : コミュニケーションを図るための新たなゲーム課題の提示、および小グループ内での討論 ・課題に対する自分の意見を決められた時間内で発表できる（技能）。 ・質問に対して的確な応答ができる（技能）。 7. コンセンサスゲーム その 2 : 与えられた課題についての小グループ内での討論。 ・課題に対する自分の意見を決められた時間内で発表できる（技能）。 ・質問に対して的確な応答ができる（技能）。 8. コンセンサスゲーム その 2 : 討論結果の発表と全体での討議 ・グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる（技能）。 ・自分達のグループと他のグループの結果を比較して討議する（態度）。		

9. 講義 -アサーティブネススキル- 対立意見を尊重し、協力してよりよい問題の解決を見いだすのに必要となる技能、態度とは

- ・対人関係に影響をおよぼす心理的要因を概説できる。
- ・相手の心理状況とその変化に配慮し、適切に対応するためのスキルについて説明できる。
- ・相手の話を傾聴することの重要性を説明できる*。
- ・アサーティブな態度とは、いかなるものであるかを説明できる*。

10. 問題立脚型学習（PBL） PBL の取り組み方についての導入講義と、小グループで討議する課題の提示

11-13 問題立脚型学習(PBL) 課題についての小グループ内での討論

- ・課題に対する自分の意見を決められた時間内で発表できる（技能）。
- ・質問に対して的確な応答ができる（技能）。
- ・他者の意見を傾聴する（態度）。
- ・対立意見を尊重し、協力してよりよい結論を導くことができる（技能・態度）。

14. 問題立脚型学習（PBL） : 討論結果の発表と全体での討議

- ・グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる（技能）。
- ・自分達のグループと他のグループの結果を比較して討議する（態度）。

15. 自己評価および演習のまとめ : 本演習科目により修得できた知識、技能および態度について、何が身に付いたのかを各自で振りかえる

- ・本演習を受講したことで見出された、自らのコミュニケーションの長所・短所を認識する（態度）*。
- ・本演習を受講したことで修得できたコミュニケーション能力を、自らで評価する（態度）*。